

〔16 釈文〕 大運寺江戸増上寺末願い（天保11年）

乍レ恐以ニ書附一奉ニ願上一候

当分御預所上州吾妻郡大戸村大運寺・

村役人・旦方一同奉ニ願上一候、大運寺儀者

応安年中之起立ニ而、京都知恩院末ニ御座候処、

其後寛永年中、同郡原町善導寺末寺ニ

属し、古跡ニ相違無ニ御座一候、然処大運寺并

旦方共一同以ニ心願一、江戸増上寺末ニ相転

申度段、本寺江茂熟談仕候処相整、離末之上

増上寺末ニ罷成申度候、何卒格別之御憐察

を以、御聞濟被ニ成下置一候様奉ニ願上一候、以上

上州吾妻郡大戸村

天保十一子年十一月 大運寺印

旦方惣代

名主	丈八印
組頭	儀左衛門印
百姓代	七郎兵衛印

山本大膳様

御役所

（以下、奥書・異筆）

前書奉レ願候儀、拙寺共一同奉ニ願上一候、

依レ之奥印仕候、以上

――

善導寺

【16読み下し文】

恐れ乍（なが）ら書附（かきつけ）を以（もつ）て願い上げ奉（たてまつ）り候」

当分御預かり所上州吾妻郡大戸村大運寺・

村役人・旦方（だんかた）一同願い上げ奉り候、大運寺儀は

応安年中の起立（きりゆう）にて、京都知恩院末に御座候処、

其（そ）の後寛永年中、同郡原町善導寺末寺に

属し、古跡に相違（そうい）御座無く候、然（しか）る処大運寺並び

旦方共一同心願（しんがん）を以て、江戸増上寺末に相転（ころ）び

申し度段、本寺へも熟談（じゆくだん）仕（つかまつ）り候処相整（ととの）い、
離末（りまつ）の上」

増上寺末に罷（まか）り成り申し度候、何卒（なにとぞ）格別の御憐察（れんさ
つ）」

を以て、御聞き済み成し下し置かれ候様願い上げ奉り候、以上

（一八四〇）

上州吾妻郡大戸村

天保十一子年十一月

大運寺①

旦方惣代

名主	丈八①
組頭	儀左衛門①
百姓代	七郎兵衛①

山本大膳様

御役所

（以下、奥書・異筆）

前書願い奉り候儀、拙寺（せつじ）共一同願い上げ奉り候、

これに依（よ）り奥印（おくいん）仕り候、以上 一一一

善導寺